

真駒内駅前地区まちづくり指針 (H25.5)

課題

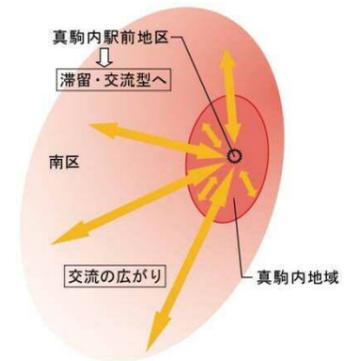
- 人口減少と少子高齢化に伴う課題
- 小学校の統合と閉校後の跡利用
- 公共施設等の老朽化
- 地域から寄せられた意見等 (交通課題・にぎわいなど)

地域住民等と札幌市が確認・共有する今後の取組の指針

基本方針

真駒内地域はもとより南区全体の拠点として、駅前地区の再生に向けた取組みを展開する。

- 通過型から人が集まる滞留・交流型の駅前地区へ・・・①
- 駅前地区の活動と交流の広がりによって南区全体の魅力向上へ・・・②



基本目標

- 駅の拠点性を活かしたにぎわい・交流の創出・・・③
- 安全で安心な暮らしを支える機能の確保・・・④
- 多様なコミュニティ活動が展開する場の形成・・・⑤
- みどりと歴史を感じ、環境にもやさしい街並みづくり・・・⑥

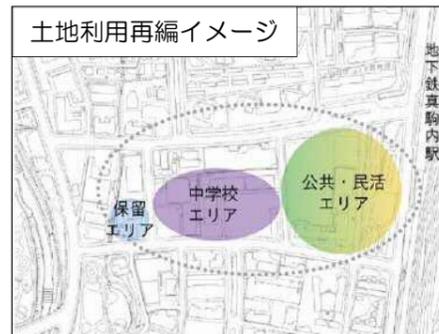
当面の取組 ～旧真駒内緑小学校の活用～

- 子育て環境の充実・強化と地域コミュニティの維持向上を図るため、子どもを中心とした多様な連携・交流が生まれる場を創出
- 南区役所・南区民センター駐車場の整備

将来的なまちづくり ～駅前地区の土地利用の再編～

<取組の考え方>

- 多くの人利用しやすいよう、行政・公共サービス機能を地下鉄駅に近づけて配置
- 生活利便機能や滞留・交流空間等の充実のため、民間活力の導入可能性を検討
- 新たな機能配置に対応し、交通結節点機能の向上を検討



<土地利用再編に合わせた総合的な取組>

- 市有施設以外の更新動向も踏まえた連携・協働など、土地利用再編の区域の拡大
- 滞留空間の充実など、駅前にふさわしい空間づくり
- 施設更新に当たってのデザインの調整など、駅前の街並みの魅力向上
- 駒岡清掃工場の廃熱を利用した地域熱供給の活用・発展など、環境にやさしいまちづくり

上位計画の策定・見直し

●札幌市まちづくり戦略ビジョン (戦略編) [H25.10]

【都市空間創造の基本目標】

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

真駒内 ⇒ 地域交流拠点の一つ

施策の方向性

【多様な交流を支える交流拠点】

- ～地下鉄駅周辺などの機能向上を促進～
- 再開発などによる都市機能の誘導
- 地下鉄始発駅の重点的な整備の促進
- ★地下鉄真駒内駅の周辺 ⇒ リーディングプロジェクトの一つ
- 快適な歩行空間の創出

様々な意見を受け止め、その後の検討を深めるための「視点」として

人口減少・少子高齢化の進展

上位計画・社会情勢の変化

様々な地域要望

機運の高まり・住民活動の広がり

●「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」の実施 [H25～26]

- ・まちづくり指針の実現に向けて、まちづくりの機運を高めるため、全国から広くまちづくりのアイデアを募集するコンペを開催。
- ・国内外から合計78件の作品応募があり、真駒内のまちづくりへの自由な提案が集まった。



●まこまる (旧真駒内緑小学校跡施設) の活用 [H27～]

- ・平成24年3月に閉校となった旧真駒内緑小学校を、子どもを中心とした連携・交流の場「まこまる」として、平成27年4月にオープン。南区保育・子育て支援センター (ちあふる・みなみ)、子どもの体験活動の場 (Coミドリ)、札幌市立大学真駒内キャンパス、真駒内相談指導教室として活用中。
- ・「まこマルシェ」など、地域の各種イベントも開催。



再検証

●第2次札幌市都市計画マスタープラン [H28]

【多様な交流を支える地域交流拠点】

- 各拠点の特性に応じて優先度を考慮した都市開発の誘導と基盤整備
- 拠点を中心とした交通機能の向上
- にぎわい・交流が生まれる場の創出
- 環境に配慮した取組みの推進

★真駒内 ⇒ 先行的に取り組み地域交流拠点の一つ

●札幌市立地適正化計画 [H28]

- 市街地区分に応じた人口密度の適正化
- 公共交通を基軸とした各種都市機能の適切な配置

設定

- ・集合型居住誘導区域
- ・都市機能誘導区域

真駒内駅前周辺 ⇒ 各区域を設定

まちづくりの重要な視点 (前回提示・一部追加有)

- 地域課題に対応するとともに、多様な地域資源を活かし、地域の魅力をより一層高める視点 ⇒ 指針の課題及び⑥をベースとしつつ、「機運の高まり、住民活動の広がり (まこまるの活用等)」を受け、地域資源の幅広い活用を目指すものとして反映
- 持続可能なまちへ再構築を図る視点 ⇒ 札幌市まちづくり戦略ビジョンの都市空間創造の基本目標を受け新たな要素として追加
- 駅前地区を真駒内地域はもとより南区全体の拠点と捉え、先導的に駅前地区の拠点性を向上し、周辺地域への波及・展開につなげていく視点 ⇒ 上位計画における地域交流拠点の位置付けを指針 (基本方針前文及び②) に結びつけるものとして反映
- 駅前地区で滞留や交流を創出していく視点 ⇒ 指針①、③を踏襲
- 行政と住民、民間事業者が適切に役割を担い、協働によるまちづくりを実現する視点 ⇒ 指針⑤をベースに、「機運の高まり、住民活動の広がり」を受け、指針をより具体化するものとして反映
- 安全・安心な暮らしの実現を目指す視点 ⇒ 指針④を踏襲。(前回指摘により追加)

地域協議会での意見、住民意識調査、民間事業者ヒアリング調査を反映

まちづくり計画の基本方針等として再整理

駅前地区に導入する機能の方向性を再整理

真駒内駅前地区まちづくり計画策定

本日の議題
指針の掘り下げ